

# パブリックコメント実施結果報告書

平成22年3月31日

(担当課)	福祉保健部子育て支援総室
(担当者)	山根
(連絡先)	0857-26-7148

テーマ： 子育て王国とっとりプラン（素案）について

<手段別意見応募件数>（意見件数を記入してください。応募者数は（ ）書きしてください。）

（記入例：1人が提出したものに3つの意見が記載されていた場合 3（1）と記してください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民室・ 県民局へ	その他の 方法	計
21（8）	57（21）	92（41）	11（5）	42（22）	223（97）

その他方法の例：意見交換会、電話、イベント等

<応募意見の政策案等への反映状況>

対応状況	件数	主 な 意 見
反映した （一部のみ反映した ものを含む）	33	高校卒業までは本プランの対象と考えられるので、青少年の健全育成、不登校、ニート対策等を入れてはどうか。 智頭町の「森のようちえん」を鳥取の子育ての魅力として紹介してほしい。 子どもや妊婦の受動喫煙防止のため禁煙を推進してほしい。 プランの中に食育をぜひ位置づけてほしい。 子育て支援施策を知らない人が多く、もっとPRした方がよい。 待機児童の受け入れができるよう保育所等をもっと増やしてほしい。 中高一貫校の設立等の進学教育の充実について盛り込むべき。 高校以降の奨学金制度を充実させてほしい。
既に盛り込み済み	92	地域ぐるみで子育てをしていけるよう関心を高めてほしい。 地域みんなで子育てという趣旨は分かるが、子育ての基本は親、家族である。 女性トイレだけでなく、男性トイレにもオムツ交換台の整備を。 学校や保育所、幼稚園、学童保育所などの耐震化を急いでほしい。 保育料の軽減をしてほしい。 医療費助成を小学生又は中学生まで続けてほしい。 延長保育、放課後児童クラブの時間を延長してほしい。 病児保育の拡充を進めてほしい。 子育て支援施策を知らない人が多いので、もっとPRしたほうがよい。 障がい児やその保護者に対する支援（就労支援、精神的な支援、社会全体への意識啓発等）をしてほしい。 子どもの急病等の際の休暇や育休を取りやすくしたり、長時間労働防止など子育てと仕事の両立が図りやすい環境整備を進めてほしい。
今後の検討課題	47	保育所における子ども1人あたりの面積も広げてほしい。 保育士の配置基準や保育士の待遇を改善してほしい。 保育所の民間委託を更に進めるべき。 小児の予防接種の助成をしてほしい。 不妊治療の制限の緩和
対応困難	31	結婚をするかどうかは個人の自由なので結婚支援は不要。 もう少しプランの中身を絞ってはどうか。 ファミリーサポートセンターを3歳未満児用と幼児用を分けて設置してほしい。 長時間保育が育児放棄に手を貸しているのは否定しきれない。 食育の推進のため、学校給食をセンター方式ではなく、学校ごとに。
その他 （例：施策の体系 外の意見等）	20	プランの策定により、子育て支援の実施にあたり、横の連携が取りやすくなる。 環境と精神・金銭的な状況が整えば、子供をもっと産みたいと思う人は増加すると思う。 鳥取県は産婦人科や小児科がたくさんあり、自然や文化が豊かで子育てしやすい環境にあると思う。
計	223	

上記分類が困難な場合は、担当課整理による分類でもかまいません。

<意見募集結果概要書を、1部添付してください。>

他の公表方法として該当するものに を付してください。

とりネット （実施担当課）	報道機関への 資料提供	県議会への報告	県民室等での 縦覧等	広報誌等への 掲載	その他

その他の例：審議会報告等